

誰もが個人として尊重され  
平和な生活をおくることができる社会をめざして



ウクライナ避難者支援

報告と提言

あいち・なごやウクライナ避難民支援ネットワーク

「報告と提言」

2025 年 3 月 21 日

あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク

2025 年 3 月 21 日

## 発行趣旨

本冊子は

2022 年 2 月 24 日、ロシアによるウクライナ侵攻をうけて

日本に避難してこられたウクライナ避難民を

東海地域で、民間団体と自治体が力をあわせて支援してきた内容を記録し

その経験を今後にかすための「報告と提言」です。

はじめての「ウクライナ避難民支援」ではありますが

その多くは、国籍を問わず「難民支援」や「定住外国人支援」において

これまで積み上げて経験があったからこそ、行えたものでした。

また、戦争・紛争による避難だけでなく

大規模災害で故郷を離れて避難し、生活困難を抱える方々の支援において

民間団体と行政が、また異なる分野の民間団体が

力をあわせて取り組んできた経験にも支えられました。

誰もが個人として尊重され、平和な生活をおくることができる社会をめざし

地域の条件にあわせた、官民連携・民民連携をすすめられるよう

本冊子が、多くの方々に活用いただけることを願います。

## 目次

### 発足

ウクライナから愛知県への避難にはどのような特徴がありますか	P04
あいち・なごやでの支援ネットワークはどのように発足しましたか	P07
あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワークはどのような特徴をもっていますか	P11

### 連携

この3年間、どのように連携して取り組みましたか	P12
自治体との連携は、どのように始まりましたか	P19
名古屋市とは、どのように連携していますか	P20
県や各市町村とは、どのように連携していますか	P28
各市町村での受け入れには、どのような特徴がありましたか	P34

### 活動

支援ネットワークでは、どのように支援に取り組みましたか	P36
どのように個別支援・同行支援を行いましたか	P42
どのような団体・専門家・支援者のつながりがありますか	P44
情報やコミュニケーションではどのように工夫していますか	P47
ネットワーク組織の運営は、どのように工夫しましたか	P51
活動の財源は、どのように確保し、活用しましたか	P52

### 課題

現在ウクライナ避難民は、どのような課題を抱えていますか	P53
「住まい」では、どのような支援が行われていますか	P64
「生活圏のつながり」では、どのような経験と課題がありますか	P67
「就労」は、どのように進みましたか、教訓や課題はどのようなですか	P70
「言語（母国語・日本語）」学習の方法や課題はどのようなですか	P73
「進路の選択やキャリア形成」では、どのような事例がありますか	P76
「健康・医療」では、どのような対応がされましたか	P79

### 評価

「補完的保護対象者認定」制度、定住支援プログラムはどのように評価できますか	P81
ウクライナ避難民の自立はどのように進みましたか	P85
定住外国人支援や難民支援の視点からは、どのように評価できますか	P89
今後に向けて、この経験を活かすには、どのようにすればいいでしょうか	P91

### 資料

認定 NPO 法人レスキューストックヤード「あるある」特集 より	P93
NPO 地域と協同の研究センター研究センターNEWS より	P99